

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-イ	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進	施策	② 幼児児童生徒の基礎的な体力の向上及び健康・安全教育の推進
			施策の小項目名	○健康教育の推進
主な取組	歯科保健推進事業			
対応する主な課題	②本県の児童生徒の体力・運動能力については、低下傾向に歯止めはかかっているものの、相対的には全国平均を下回っていることや、子どもたちの欠食率が全国と比べて高い傾向にあるほか、高校生の交通事故件数が300件程度で推移しているなど、子どもたちの健康・安全面等において課題があることから、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う、健康・安全教育、運動・スポーツ活動等の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
80歳で自分の歯を20本以上保つという「8020運動」に関する普及啓発等を行い、県民の歯科保健意識の向上を図ることにより、沖縄県歯科口腔保健推進計画の目標達成を目指し、県民の生活の質の向上を図る。						
実施主体		県、市町村				
担当部課【連絡先】		保健医療部健康長寿課 【098-866-2209】				
		保育所、幼稚園、小学校等へフッ化物応用支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 歯科保健推進事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度：①歯科口腔保健推進協議会②フッ化物応用推進③歯周病予防推進④口腔ケア推進⑤かかりつけ歯科医推進	
各省計上	直接実施	11,190	7,186	7,028	5,447	5,480	7,008	各省計上	OR3年度：①歯科口腔保健推進協議会②フッ化物応用推進③歯周病予防推進④口腔ケア推進⑤かかりつけ歯科医推進	
予算事業名 —							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： —	
		—	—	—	—	—	—		OR3年度： —	

様式1(主な取組)

活動指標名	保育所、幼稚園等でのフッ化物洗口実施支援				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	26回	20回	30回	34回	2回	—	40.0%	5,480	大幅遅れ	各ライフステージに応じた歯科保健対策を推進するため、歯と口の健康週間や歯癌充月間における啓発活動、むし歯予防のためのフッ化物洗口実施支援、歯周病予防のための健康教育等を実施し、県民の歯科保健意識の向上を図った。	
活動指標名	—				R2年度						
実績値	—	—	—	—	—	—	—			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	歯と口の健康週間だけでなく、11月に歯がんじゅう月間を定め、啓発を行うことができた。フッ化物洗口推進の支援や健康教育を行うことで歯科保健意識の向上を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の見込んだ実施回数より少なかった。
活動指標名	—				R2年度						
実績値	—	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R2年度						
実績値	—	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和2年度の取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口など、科学的根拠に基づいたむし歯予防法や先駆的に実施し、効果を出している事例を組み込んだ研修会を開催する。 ・関係機関を委員とする会議等で、歯科保健の現状・対策等について共有し、連携を深める。 ・「歯と口の健康週間」、「歯科口腔啓発月間（歯～がんじゅう月間）」で県民の歯科保健の課題に沿った内容の講演会やイベントを開催する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、研修会ではなく、フッ化物洗口に関するマニュアルの作成を行うことで、フッ化物洗口実施拡大のための環境整備を進めることができた。 ・職域や障害者等の関係団体を加えた沖縄県歯科口腔保健推進協議会を開催し、情報共有や連携を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和2年度はイベント開催はできなかったが、新聞等マスコミを活用した啓発を行った。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 幼稚園や小学校でのフッ化物洗口実施について安全性や職員の業務負担を懸念する意見があり、実施拡大できない状況にある。

○外部環境の変化

・ 新型コロナウイルス感染症の影響による学校等での歯みがき中止やフッ化物洗口の中止。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ フッ化物洗口の実施主体となる市町村(教育委員会)等へ継続して情報提供する必要がある。
- ・ 歯と口の健康週間や歯がんじゅう月間での啓発活動を継続する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 教育関係者を対象に含めたフッ化物洗口研修会の開催や情報提供を行う。
- ・ 歯と口の健康週間や歯がんじゅう月間において、新型コロナ感染症の影響を考慮した啓発を行う。